

平成23年第1回糸魚川市議会臨時会会議録 第1号

平成23年1月20日(木曜日)

議事日程第1号

平成23年1月20日(木曜日)

午前10時00分 開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案第1号及び同第2号

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案第1号及び同第2号

応招議員 26名

+

出席議員 26名

1番	甲	村	聰	君	2番	保	坂	悟	君
3番	齊	木	勇	君	4番	渡	辺	重	雄
5番	倉	又	稔	君	6番	後	藤	善	和
7番	田	中	立	一	君	8番	古	川	昇
9番	久	保	田	長	門	君	10番	保	坂
11番	中	村	実	君	12番	大	滝	豊	君
13番	伊	藤	文	博	君	14番	田	原	実
15番	吉	岡	静	夫	君	16番	池	田	達
17番	古	畑	浩	一	君	18番	五	十	嵐
19番	高	澤	公	君	20番	樋	口	英	一
21番	松	尾	徹	郎	君	22番	野	本	信
23番	齊	藤	伸	一	君	24番	伊	井	澤
25番	鈴	木	勢	子	君	26番	新	保	峰

欠席議員 0名

+

説明のため出席した者の職氏名

市	長	米田	徹君	副	市	長	本間	政一君
総務部	長	織田	義夫君	市民部	長	小掠	裕樹君	
産業部	長	深見	和之君	総務課	長	田鹿	茂樹君	
企画財政課	長	吉岡	正史君	能生事務所	長	池亀	郁雄君	
青海事務所	長	七沢	正明君	市民課	長補佐	清水	克夫君	
環境生活課	長	金平	美鈴君	福祉事務所	長	結城	一也君	
健康増進課	長	伊奈	晃君	交流観光課	長	滝川	一夫君	
商工農林水産課	長	金子	裕彦君	建設課	長	早水	隆君	
都市整備課	長	金子	晴彦君	会計管理者	会計課	長	小林	忠君
ガス水道局	長	山崎	弘易君	消防	長	山口	明君	
教育	長	竹田	正光君	教育委員会	教育総務課	長	渡辺	辰夫君
教育委員会	こども課	長	靄本	修一君	教育委員会	生涯学習課	長	
					中央公民館	長兼務		
					市民図書館	長兼務	扇山	和博君
					勤労青少年ホーム	館長兼務		
教育委員会	文化振興課	長			監査委員	事務局	長	久保田
歴史民俗資料館	長兼務	小林	強君					幸利君
長者ヶ原考古館	長兼務							

+

+

事務局出席職員

局	長	神喰	重信君	次	長	小林	武夫君
係	長	松木	靖君				

午前10時00分 開議

議長（倉又 稔君）

おはようございます。

これより平成23年第1回糸魚川市議会臨時会を開会いたします。

欠席通告議員はありません。

定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。

日程第1．会議録署名議員の指名

議長（倉又 稔君）

+

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、12番、大滝 豊議員、26番、新保峰孝議員を指名いたします。

日程第2、会期の決定

議長（倉又 稔君）

日程第2、会期の決定を議題といたします。

会期については、去る1月13日に議会運営委員会が開かれておりますので、その経過と結果について委員長の報告を求めます。

高澤 公議会運営委員長。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

高澤委員長。〔19番 高澤 公君登壇〕

19番（高澤 公君）

おはようございます。

議会運営委員会報告を行います。

去る1月13日及び本日9時半から議会運営委員会が開催されておりますので、その経過と結果についてご報告をいたします。

本日招集されました平成23年第1回市議会臨時会に提出されました議案は、お手元に配付されております議案書のとおり、平成22年度一般会計補正予算（第7号）及び（第8号）の2件であります。

協議の結果、この議案につきましては、本日、委員会の付託を省略し、即決でご審議いただきたいことで、委員会の意見の一致をみております。

次に、会期及び日程については、会期は本日1日とし、日程につきましては、お手元に配付の日程とすることで、委員会の意見の一致をみております。

なお、議会運営についてであります。ことし常任委員会委員の任期を迎えることから、改選時期について協議を行い、5月中に臨時会を開催することで、委員会の意見の一致をみております。

以上で、議会運営委員会の報告を終わります。

議長（倉又 稔君）

ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。

ご質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

ご質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日間とし、委員長報告のとおり進めたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

ご異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日1日間と決定いたしました。

日程第3．議案第1号及び同第2号

議長（倉又 稔君）

日程第3、議案1号及び同第2号を議題といたします。

提案理由の説明とあわせ、当面する課題について市長から発言を求められておりますので、この際これを許します。

米田市長。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

おはようございます。

平成23年第1回市議会臨時会の招集に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

議員の皆様方におかれましては、大変ご多用のところご参集をいただき厚くお礼申し上げます。本臨時会におきましては、補正予算の議案2件のご審議をお願いしたいものであります。

議案の内容につきましては、後ほどご説明をさせていただきますが、この機会に4点ほどご報告を申し上げます。

最初に、平成22年国勢調査人口の速報値について、ご報告申し上げます。

1月18日に発表されました新潟県の速報によりますと、当市の人口は4万7,698人、世帯数は1万7,430世帯となっております。この数値は、前回の平成17年国勢調査結果との比較におきましては、人口で2,146人、4.3%の減、世帯で22世帯、0.1%の増となっております。

平成12年から平成17年の減少率が6%であったものが、今回の減少率が4.3%と1.7ポイント改善をし、平成18年に策定をいたしました総合計画基本構想での目標人口を上回っておりますことから、人口減少は鈍化をし、以前に比べますと、そのような形になっておるとらえております。今後も、後期基本計画の中で、引き続き、人口減少対策に鋭意取り組んでまいりたいと考えております。

2点目に、今冬の積雪状況について、ご報告申し上げます。

昨年末から降り続いた雪は、1月19日現在、平均積雪で糸魚川地域1メートル10センチ、能生地域1メートル37センチ、青海地域56センチを記録いたしました。今後も降雪が予想されますことから、市といたしましても適切な除排雪の実施、並びに市民生活確保に努めてまいりたいと考えております。

なお、除雪経費の不足が見込まれますことから、補正予算案をこの後に、議案第2号において提

案をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

3点目に、新幹線系魚川駅の駅舎デザインについて、ご報告申し上げます。

鉄道・運輸機構から提案をされました駅舎デザイン案の3案を絞り込むための検討委員会が、去る1月17日、日本海と北アルプスをモチーフといたしましたC案とする方向で附帯意見をつけ、意見集約をされたところであります。

また、翌18日には、港湾交通対策特別委員会に選定結果を報告し、活発にご論議をいただき、C案を前提といたしまして附帯意見や要望等をいただきました。

市といたしましても、これらを踏まえ最終判断をし、来る1月28日、鉄道・運輸機構に推薦をすることといたします。新幹線工事が着実に進められる中、当市の新しい玄関口といたしまして、市民や来訪者に親しまれる駅舎となるよう期待をするものであります。

最後に、柵口温泉センターの民間譲渡について、ご報告申し上げます。

譲渡先については、昨年12月10日から本年1月11日までの間、一般公募により募集を行ってまいりましたが、地元有志による1団体から応募がありました。当団体からは、あわせて新たに会社を設立して、施設運営を行いたい旨の申請も受けておりまして、現在、譲渡に向けた内容審査、並びに協議等を行っているところであります。

以上、ご報告を申し上げます。

議会並びに議員の皆様からの特段のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げ、招集のごあいさつとさせていただきます。

引き続きまして、提案をいたしております議案につきまして、ご説明申し上げます。

議案第1号は、平成22年度一般会計補正予算（第7号）でありまして、歳入歳出それぞれ2億4,847万4,000円を追加をし、総額を316億613万9,000円といたしております。

国の経済対策といたしまして、地域活性化交付金事業が新設されたことに伴いまして、本市においても関連事業について補正予算を提案するものであります。

歳出につきましては、お手元ご配付の参考資料のとおりであります。まず、地域のニーズに応じた、きめ細かな交付金事業といたしまして1億8,710万円、うち交付金が1億5,894万5,000円であります。

次に、弱者支援や知の地域づくり事業などに対応する、住民生活に光をそそぐ交付金事業といたしまして5,000万円、うち交付金が2,725万円であり、交付金事業といたしましては、合計2億3,710万円、うち交付金が1億8,619万5,000円であります。

また、その他の補正といたしまして、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンの接種費用を全額助成をするため、合わせて1,137万4,000円を計上するものであります。

歳入につきましては、所定の特定財源を充当し、所要の一般財源におきましては、地方交付税を充当いたしました。

なお、繰越明許費は、第2表のとおりであります。

詳細につきましては、この後、所管の部・課長から説明をさせていただきます。

以上であります。よろしくご審議くださいますよう、お願い申し上げます。

すみません。説明を続けさせていただきます。

議案第2号は、平成22年度一般会計補正予算（第8号）でありまして、歳入歳出それぞれ1億

4,615万5,000円を追加し、総額を317億5,229万4,000円といたしております。

さきの行政報告でも申し上げましたとおり、今冬の積雪状況から当初予定いたしました除雪経費の不足が見込まれますことから、このたび追加補正するものであります。

詳細につきましては、この後、所管の部・課長から説明をいたします。

以上であります。よろしくご審議くださいますよう、お願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉岡企画財政課長。〔企画財政課長 吉岡正史君登壇〕

企画財政課長（吉岡正史君）

おはようございます。

それでは、平成22年度の糸魚川市一般会計補正予算（第7号）について、まず、ご説明を申し上げます。

予算書の1ページでございます。

今回の補正の歳入歳出は、今ほど市長がご説明いたしましたとおり、緊急経済対策及び子宮頸がんなどのワクチン接種事業を実施するため、歳入歳出にそれぞれ2億4,847万4,000円を追加し、歳入歳出それぞれ316億613万9,000円といたしたいものであります。

まず、歳出であります。予算書の事項別明細書の12ページ以降に掲載されておりますが、本日記付いたしました説明資料に基づき、ご説明を申し上げます。

まず、1番目の地域活性化交付金事業のうち、一番のきめ細かな交付金事業であります。1番目の表の一番下の欄に記載されておるとおり、交付金内示額1億5,894万5,000円に一般財源2,815万5,000円を加えまして総額1億8,710万円で、21項目の事業を実施したいものであります。

主な事業について、ご説明を申し上げます。

まず、3番目ですが、5款1項の6、マリンホール整備事業におきましては、能生マリンホールの外壁タイル、屋根などの修繕に2,000万円。

それから、4番目の6款1項の6、農業用施設維持管理費につきましては、広域農道平牛上覚線の排水修繕、西中大野線の舗装修繕、及び山寺用水ほか3用水の修繕に対する補助で、計1,510万円。

それから、9番目の7款1項の1、観光施設管理運営事業では、親不知ピアパークのレトスピアなどの屋上防水等、及び親不知記念広場の展望施設階段等の修繕に1,200万円。

それから、10番目の8款2項の6、道路修繕事業につきましては、市道仙納筒石線ほか15路線の修繕と路線を定めない小修繕、合わせて7,320万円。

それから、11番目の8款2項の1、道路新設改良事業につきましては、市道能生中央線ほか2路線の舗装改修及び側溝改良に1,800万円を計上いたしております。

続きまして、一番の住民生活に光をそそぐ交付金事業につきましては、2番目の表の一番下の欄に記載されているとおり、交付金内示額2,725万円に一般財源2,275万円を加え、総額5,000万円で4項目の事業を実施したいものであります。

なお、一般財源のつけ足しが大きくなっておりますものは、この交付金が配分額が1,000億

円に対して内示に500億円という形で、2分の1しかありません。残りの2分の1につきましては、効果が高いものに再配分されるということで、一般財源のつけ足しが大きくなっているものがあります。

事業といたしましては、1番目、2款1項の26の基金積立金につきましては、平成23年度及び24年度に、各学校に配置予定の教育補助員等の経費に充てるため、教育振興基金として2,500万円を積み立てたいものであります。

2番目の10款2項の1、小学校教育振興事業につきましては、国語デジタル教科書及び図書の購入に650万円。3番目の3項の1、中学校教育振興事業につきましては、図書購入に200万円。4番目の同じく5項の11、図書館資料整備事業では、図書購入に1,650万円を計上いたしております。

2番目のその他の予算につきましては、まず、1番目で4款1項の27、子宮頸がん予防ワクチン接種事業、それから2番目の41の子どもインフルエンザ・ヒブワクチン接種事業、それから3番目の44の肺炎球菌ワクチン接種事業につきましては、県からの補助金514万1,000円に一般財源623万3,000円を加えまして、総額1,137万4,000円を計上いたしましたものであります。

次に、歳入であります。予算書のほうに戻っていただきまして、事項別明細書の10、11ページをお願いいたします。

今ほど説明いたしました国からの交付金1億8,619万5,000円と、県補助金514万1,000円、そして一般財源といたしまして5,713万8,000円が必要になるわけですが、一般財源につきましては、普通交付税5,713万8,000円を充当いたしております。

続きまして、5ページをお願いします。

第2表の繰越明許費でございますが、地域活性化交付金事業で計上いたしました保健センター管理ほか15事業につきましては、平成23年度に繰り越しとなるものであります。

以上で、議案第1号の説明を終わります。

続きまして、議案第2号、平成22年度系魚川市一般会計補正予算(第8号)のご説明を申し上げます。

今回の補正は、今年度の除雪に要する経費に不足が見込まれますことから、歳入歳出に1億4,615万5,000円を追加いたしまして、歳入歳出それぞれ317億5,229万4,000円といたしたいものであります。

歳出でありますけれども、予算書の事項別明細書、10、11ページをお願いいたします。

まず、3款、民生費の1項4目、老人福祉費の9、屋根雪等除雪支援事業におきましては、屋根雪除雪の支援事業補助金で220万円。

それから、2項4目のへき地保育所につきましては、上根知保育所の除雪に必要な人夫賃、機械借り上げに対する補助金として10万円。

それから、8款、土木費、2項2目、道路除排雪事業につきましては、まず、融雪剤等消耗品で130万円、それから施設修繕費で50万円、それから除排雪の委託料で1億2,800万円の計1億2,980万円をお願いしたいと思っております。

6番の融雪施設修繕事業につきましては、消雪パイプ関係の修繕料で550万円、それから

16の道路除排雪車両事業関係経費では、除雪機の修繕で720万円。

それから10款の教育費、2項1目、学校管理費の6の小学校管理費では、上早川小学校ほか2校の除雪委託料で90万円。それから3項1目、学校管理費の6番の中学校管理費では、能生中学校ほか1校の除雪委託料で20万円。それから5項の3目、公民館費の6、公民館管理運営費では、除雪手数料として中能生公民館ほか3館で8万円、それから除雪機械借上料として6館分で17万5,000円を、それぞれ追加いたしたいものであります。

続きまして、歳入であります。

事項別明細書の8、9ページをお願いいたします。

今回の補正は、すべて一般財源ということで、10款1項1目1節の1番の普通交付税を充当いたしております。

以上で、議案第2号の説明を終わります。

議長（倉又 稔君）

ただいまの説明に対する質疑に入ります。

質問は、1人15分以内でお願いいたします。

ご質疑ありませんか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂 悟議員。

2番（保坂 悟君）

よろしく申し上げます。

議案書の13ページ、4款、事業 27、41、44のどれもワクチンについてであります、どの項目についても、ちょっとお伺いしたいと思います。

まず、この1回当たりの接種費用、それぞれのワクチンについて何回打つのか。接種によってどのくらいの有効期間、何年くらい接種したことによって、その有効期間があるのか。それと対象人数、今回の予算について対象人数が何人か。あと周知方法。それから今回、この予算が通った後のスケジュールについて、それぞれお伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

伊奈健康増進課長。〔健康増進課長 伊奈 晃君登壇〕

健康増進課長（伊奈 晃君）

お答えいたします。

まず、子宮頸がん予防ワクチン事業につきまして、お答えいたします。

まず、今回の事業につきましては、高校1年生ということで予定しております。高校1年生相当年齢ということで、高校へ行ってない方も含めまして199名でございます。

この子宮頸がんワクチンの基本的な考え方といたしましては、今回は高校1年でございますが、来年度以降、中学1年から高校1年まで、これは国の助成基準に合わせまして行いたいということでございます。

なぜ、今回は高校1年かということになりますが、来年度につきましては国は高校2年まで、今

の高校1年も含めまして、高校2年までを対象といたしております。その条件といたしまして、今年度に1回以上接種いたしますと、来年度も2回、3回と、3回打つわけですが、その分も助成対象としていただくということで、今回、高校1年の1回分を予算計上させていただいているものでございまして、助成の単価は1回当たり1万5,939円の1回分、199名分を予算計上しております。

このワクチンの有効性といいますか、これにつきましてはいろいろ出ております。一般的には6、7年という数字が出ております。これは世界的にこの事業が始まって、まだそのぐらいしかたっていないということで、その後の経過は、まだ経過観察中ですが、また、この接種事業の前に臨床試験というのを各国で行っているわけです。それを入れますと、大体9年ぐらい経過がたつておると。今現在、その間の追跡調査によりますと、効果が持続されておるということでございます。

また今後、じゃあ何年ぐらいということになるんですが、これはいろいろ研究されておりまして、今のワクチンの経過、それから、ほかのワクチン等いろいろあるわけですが、それぞれの実績等を統計的に見まして、約20年ぐらい効果があると研究されております。

それと、今後の予定でございますが、これを議決されますと、これから事務に入るわけですが、まず、医師会との調整、これは今までもやっておるんですが、今後も調整しまして、契約という行為が出てきます。

それから対象者への説明会、これは個別にまずご案内いたしまして、2月上旬に3地域で説明会を開催したいと考えております。この事業は対象者が高校1年、来年以降は中学となりますと、いろいろ年齢的にも、それと性教育に絡む部分が出てきますので、十分な説明と理解を得た中で進めていかなきゃいけないということもありまして、2月上旬に3回の地区説明会を予定しております。その後、それぞれ個別に市内の医療機関に、予約という形で接種が行われるということでございます。

それと説明会に欠席される方もいらっしゃるものですから、その方々への十分な資料の送付というものも行ってまいりますし、それから、この子宮頸がん事業につきましては、やはり一般市民の方にも十分理解していただきたいということもありまして、3月に市民公開講座、富山大学のほうから先生に来ていただいて、そういうことも行いたい。その予算も、今回この中にも説明会を含めて計上しておるところでございます。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

靄本こども課長。〔教育委員会こども課長 靄本修一君登壇〕

教育委員会こども課長（靄本修一君）

お答えいたします。

ヒブ、それから小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種の関係のご質問だと思いますが、お答えさせていただきます。

これは乳幼児の死亡、それから後遺症、それを残さないというふうなことを防ぐために接種するものでございます。

それでヒブワクチンのほうでございますけれども、これは22年4月から市でも取り組んでおる

事業でございます。それで対象者は生後2カ月から5歳未満というふうな子供たちが、対象になっております。それで今年度予算を組む基準になっている人数につきましては、1,471人でございます。もう既に240人の方々が接種されているというふうに聞いております。したがって、その人数を除いた数が1,471人ということでございます。

接種回数でございますけれども、生後2カ月から6カ月までの間が初回3回、プラス追加1回、それから生後7カ月から1歳未満の方については、初回2回、それから追加が1回、それから1歳以上5歳未満が1回というふうな接種状況になっております。

それで接種費用の件でございますけれども、1回につきまして8,852円というお金がかかるということで、情報をいただいております。

この有効期間でございますけれども、やっぱり子どもたちが小さいうちにかからない、重篤にならないというふうな部分を防ぐために、乳幼児から始まって5歳未満というふうな部分で打つことによって、その後の後遺症を残さないというふうなことになりますので、その位置づけでの接種ということでございます。

それから通知の件でございますけれども、個人通知を確実に、全員対象に配布したいというふうに考えております。あわせて市のホームページ、それから「おしらせばん」等でも知らせていきたいというふうに考えております。

それから、もう一方の肺炎球菌のほうでございますけれども、これも対象者が生後2カ月から5歳未満が対象でございます。人数の対象者でございますが、1,711人でございます。これは新たに取り組むことでございますので、その人数になっております。

接種の回数でございますけれども、生後2カ月から6カ月までの間が、初回3回、プラス追加1回、それから生後7カ月から1歳未満までの子どもたちについては、初回2回、プラス追加1回、それから1歳以上2歳未満については、2回接種が必要でございます。

この場合の費用の件なんですけれども、1回につきまして1万1,267円が必要であるというふうに情報を得ております。

これも同じように、通知の関係なんですけれども、個人通知を原則として、確実に配布したい。市のホームページ、「おしらせばん」等で、それぞれ確実に伝わるように実施していきたいと。

ここの議会で承認されましたら、2月1日から一応スタートしたいということで、準備のほうを今現在進めている状況でございます。

以上です。よろしくお願いいいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂議員。

2番（保坂 悟君）

この3件につきましては、これまで一般質問等でも、ぜひやっていただきたいということで要望してまいりまして、このように実現していただいて感謝申し上げますし、今の周知方法も、かなり手厚くされる予定になっておりますので、漏れのないように、ぜひよろしくお願いいたします。

以上で、質問を終わります。

議長（倉又 稔君）

ほかにございせんか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

古畑浩一議員。

17番（古畑浩一君）

それでは、ちょっとお聞きしたいというふうに思っております。

議案第1号のほうは、国の経済対策ということでありまして、大いに利用していただきたいというふうに思っております。林道ですとか、いろいろ道路改良につきましては、この降雪期は工事なんかできないだろうということでありまして、繰越明許で来年度、事業ができるようになるということですから、第1号につきましては、それで私もよろしいと思っております。

ちなみに、第2号のこの議案について、道路の要するに除雪費用の追加分ですよね。本日、まだ1月20日ということでありまして、もう既に当初予算で見込んだ分が、もはや底をついたのかどうか。

それで、昨年は大変な大雪でありまして、この除雪費用の要するに追加補正ということで、2回の臨時議会をやってますよね。2点目とすれば、今回の補正額で今冬乗り切ることができるのか。越後の雪は、これからが本番ですよね。そういったことを考えていくと、今回計上された補正予算ということについては、それなりの余裕があつての見込みでの予算なのかどうか、その辺お聞きをいたしたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉岡企画財政課長。〔企画財政課長 吉岡正史君登壇〕

企画財政課長（吉岡正史君）

まず、今回の補正予算で十分かということでございます。ちなみに昨年度、当初予算のほかに2回の専決と補正予算を含めまして、合計約5億5,000万円ほど予算措置させていただきました。これは当然、見込みも含めまして予算計上いたしましたものでありますが、実際に使ったのが4億9,900万円、約5億円ということでございます。

したがいまして、本年度も昨年度並みになりますと、今回補正をいたした金額が、当初予算と、それから今回のお願ひしたもので、道路の除雪のほか小学校、そういったものの当初予算に計上してるものをみんな含めまして、合計で約3億7,200万円ほどになるというふうに集計しております。

そういった中で、今現在、全部で約1億9,000万円ほど執行しております。そういった中で十分かと言われると、昨年のようにもう1回といいますか、2月以降も大きな雪が降れば、また再度お願ひしなきゃならないかもしれませんが、今現状のような降雪状況では、何とかいけるのかなというふうに思っておりますが、絶対十分だと、100%十分だというわけにはいかないということとを、ご承知お願ひしたいと思います。よろしくお願ひします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

古畑浩一議員。

17番（古畑浩一君）

ただ、この12月から1月の降り方を見ますと、割と山雪、町中のほうの除雪は簡単というか、規模が小さかったと思うんですね。それなのに、既に今ほどご説明がありましたように1億9,000万円支出されてますよね。それで今冬のこの雪の降り方、これから本番ということになると、間違いなく私は不足してくるのではないかと。また、不足しないまでも、ある程度の余裕を持って補正予算を上げることによって、むだなと言うと失礼ですけども、臨時議会を招集する必要もないと思うし、ある程度、市長の専決処分程度で終わるぐらいの余裕を持った予算計上をすべきではなかったのかなと、こういうふうに思いますけれども。

これ担当課、どうでしょうかね。今回は雪の降雪量も含めて、今後の予算執行状態をどのようにお考えなのか、お聞かせいただきたい。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

早水建設課長。〔建設課長 早水 隆君登壇〕

建設課長（早水 隆君）

お答えいたします。

今、企画財政課長がお答えしてましたように、過去5年間の平均をとった中で、今後、全体の中で、そのぐらいの予算でおさまるだろうと。逆に今現在の予算では、どれだけ不足ということで、今回補正をお願いしとるわけですが、担当課としては、雪は降らないほうがいいわけですが、1月14日に新潟地方気象台が発表してる、今後1カ月間の降雪量の見込みについて言っておりますけども、それによりますと、平年より多くなる可能性が非常に多いという話。あるいは、特に平場はそうでもないんだけど、山沿いなり山間部では降雪量が平年より多い確率が最も高く、確率が70%というような話になっております。

そういったことから、今後そういったことで、平場ではそう降らないかなという、また期待を込めてでの話でございますけども、中山間地、特に山間部では、今後も降り続けるだろうという心配をしております。

予算でございますので、これは推定でございますので、あくまでも過去5年間を参考にしながら、また企画財政のほうで予算をつけたというふうに考えておりますし、期待を込めて、この程度でおさまってほしいなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

古畑浩一議員。

17番（古畑浩一君）

仮定の話でございますので、これで足りるかと言われても、なかなか答弁が難しいところだというのも私もわかります。であれば多目にして、3月議会で減額補正されたほうが、よろしいのではないかなと、これは前回、昨年と同じことを申し上げさせていただきました。

それから、もう1点でありますけれども、当然、除雪につきましては、行政だけではなくて地域住民の皆さんのご協力で、やはり雪を消していただくということも大事になってくるんですが、平場のほうで雪が降りますと、やっぱり除雪費もかかってきますし、雪の捨て場がないということで、

除雪が徹底しないという現状もあります。

そこで、かねてから懸案事項で、水量にも限界があることから、これは難しさもわかるんですけども、現在、消雪パイプを午後になるととめますよね。あれを本当は流しといてくれば雪が解けて、無用の除雪をしなくてもいいんじゃないかなというふうに思うんですが、これはどうでしょうかね、難しい問題なんでしょうかね。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

早水建設課長。〔建設課長 早水 隆君登壇〕

建設課長（早水 隆君）

お答えいたします。

融雪電力のお話だと思いますけれども、これについては糸魚川市が単独で、東北電力と折衝して決めたものではございませんで、これは新潟県全体の中で東北電力との話し合いの中で、本来、東北電力のほうでもっと夜間、本当に6時、7時、皆さんが電気をつけられる状態のところ、本当は水をとめたいんですけど、それでは非常に困るわけでございますので、最大限ゆずって2時から3時、それから3時から4時は流して、4時から5時の間、その間2回にわたって、電気がとまるわけでございますので、そういったことで1つの県全体の中、あるいは経費節減の中で、東北電力との話し合いの中で決められたことでもありますので、できればそういった2時間、1時間を2回とめる、そういう制度というのはなくなって、なおかつ電気料が安ければ一番いいんですけども、そういったことで、市としてはそういったことをいろいろと東北電力と話し合いを持ったことはありますけれども、現実的には一東北電力、あるいは県の一部で決められる話でございますので、全体の中で決められたことなものですから、そういったことで対応をせざるを得んというふうに思っています。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

古畑浩一議員。

17番（古畑浩一君）

担当課も建設業の皆さんも、早朝から除雪作業をやっていただいております。しかし、やっぱり担当課もそうだと思いますけれども、最も苦情が来るのは雪を持っていってくれないと。置きっぱなしで、除雪の意味がないじゃないかという苦情がたくさん寄せられるところでもあります。その1つの考え方とすれば、消雪パイプの水を使って、地域住民がみずから雪を消していただけるということをやっていただければ、一番いいのかなというふうに思っております。

流雪溝なども整備はされておるんですけども、実際には水が流れていないということで、全く雪の捨て場がないという事情が、この平場のほうにはございます。それがゆえに出動回数も多かったり、苦情も多かったりするという現状であるというふうに、私自身は考えております。

県全体で東北電力との契約ということになりますと、糸魚川単独では、どうにもならないというご答弁であったとは思いますが、ひとつ今後どうしても平場に雪が降るといったって、本当に何カ月も降るわけではございませんで、1日、2日の大雪がたまって、それを消すことができずに何日間かが、毎年そうなんですけど問題になると。それがゆえに、糸魚川市の除雪体制はなってな

いという苦情が寄せられると。

私は全体的には、よくこれだけの豪雪地帯で除雪をしていただいているというふうに評価をしていますが、逆に地域住民の自助努力を喚起するためにも、消雪パイプの水を流す時間を長くする等の工夫を、また県のほうにも糸魚川市の事情というものも説明していただいて、また水不足で全くそれに対応できないというのなら別ですけれども、水があるということであるならば、今後の検討課題にしていただきたいというふうに思っております。

これは本案とは直接関係ないのかなというふうに思いますので、要望意見ということで終わらせていただきますが、ひとつ住民の冬の交通確保ということにつきましては、この補正予算でさらに充実して使っていただきたいと思います。

終わります。

議長（倉又 稔君）

ほかにご質疑ありませんか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中立一議員。

7番（田中立一君）

1点、2号議案の屋根雪等除雪支援事業の補正が出ておりますけれども、お伺いしたいと思います。

まず、今回改善されたわけですけれども、その改善点と、それから申し込み状況はいかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

結城福祉事務所長。〔福祉事務所長 結城一也君登壇〕

福祉事務所長（結城一也君）

お答えいたします。

屋根雪除雪につきましては、昨年も1冬、山間部で6万円という形で、ただ、1回当たり1万2,000円という回数でということやらせていただいたんですが、先般の民生委員さんの会議等で、うちのほうから説明させていただきまして、ことしの冬につきましては、山間部につきましては何回やっても6万円の上限ということでやらせていただいているということで、周知をさせていただいております。そういうことで、金額的には改正はないんですが、やり方について少し修正させていただいたということで、ご理解いただきたいと思います。

それから、今現在の申し込みの状況でございますが、山間部で132人、それから平野部で67の方が、一応申請という形でやらせていただいております。ただ、実際に屋根雪除雪をするかしないかというのは、もう少し時間がたたないと出てきておりませんで、実は1月17日現在で、うちのほうに実績報告というのは1件もございません。まだ皆さんは請求書を持っておられるか、もしくは一たん払っての領収書をお持ちなのか、ちょっと。ただ、山間部でやられたという情報は民生委員さんからもお聞きしておりますが、何件で幾らというのは、まだ聞いていないというのが実態でございます。

ただ、昨年の量等が降りますと、そちらのほうとの積雪の関係で、うちのほうで今回は220万円という設定は、大体6割ぐらいの積雪量でございますので、そちらのほうと420万円の昨年の6割ぐらいを掛けさせていただいて、補正させていただいたということでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

じゃあ民生委員の皆さんとの話し合いの中で、1回の枠を外したということは皆さんもご存じということで、その辺の評価等は、どのようにお聞きになられていますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

結城福祉事務所長。〔福祉事務所長 結城一也君登壇〕

福祉事務所長（結城一也君）

お答えいたします。

民生委員さんからは非常に好評でありますので、喜ばれております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

改善してもらって、私もよかったなと思うんですけども、先ほどの説明の中で、山間部はまだ平年よりも、また降る確率が高い説明がありましたけれども、気になるのは、やはり回数の制限もそうですけども、上限の枠が果たして実態にこれが即しているものなのか、ちょっとその辺の見解はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

結城福祉事務所長。〔福祉事務所長 結城一也君登壇〕

福祉事務所長（結城一也君）

お答えいたします。

確かに金額的には6万円ということでございますので、ただ近隣、例えば上越市等の比較等におきましても、そんなに遜色しているわけでもございませんし、また、これ以上たくさん降りますと、例えば昨年の例ですと、今度は災害救助条例、それから災害救助法等の適用になるという形でございますので、今のところ6万円という額につきましては、変更する予定はございません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

これ以上雪が、どうなるかまだというところはありませんけれども、降り方によって、また現場の皆さんの話し合いの中で、さらに改善を行えるところがあったら、よろしく願いして終わります。

ありがとうございました。

議長（倉又 稔君）

ほかにございませんか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂良一議員。

10番（保坂良一君）

除雪関係でちょっと質問しますけども、この1月16日ごろですか、大通り線の除雪が、かなり悪かったですよね。何かこういうような道路が、あっち行ったり、こっち行ったりするような道路になって、どうも大通り線の除雪が悪いんじゃないかと思うんですけども、機械が十分なんじゃないかな、除雪機械は。それで幅も狭いし、幅取りもしてないんですよ、16日あたりは、大分かなりひどかったですよ、あれは。

それともう1点は、そういう場合には、融雪剤をまくというようなことをしたらどうかと思うんですけども、今、糸魚川市では、融雪剤をまく機械は何台あるのか、ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

早水建設課長。〔建設課長 早水 隆君登壇〕

建設課長（早水 隆君）

お答えします。

中央大通り線の件でございますけども、私も通ってみて非常に圧雪になって、わだちになって、非常に困った状況を見ております。そういった中で、除雪してます業者に聞きました。ところが、朝1回、早朝除雪をやったんだけど、またその後、日中に降ってしまったと。その結果、その後、当然、交通量がふえてくる中で圧雪状態になって、今のそのような状況になったということで、一たんやった後、全部、その場所だけじゃないわけですから、事業者としてはその場所をやって、また次のほかの路線に入っていくって、結果として帰ってきたときは、もう積もったたということでございます。

その辺、また小まめにやるように、業者のほうの責任ではないんですけども、そういったところがあるということだけは事実なもんですから、除雪業者のほうへ連絡しまして、そういった苦情をもらっとるし、また現状そうなっているんで、おっかけまたやってくれということでやらせてもらいました。

それから幅寄せについても当然、やるとまたいろいろと車庫の前、歩道の前に雪を置いていったという苦情をもらいますけども、いずれにしても安全・安心のためには、どうしても除雪だけは、幹線道路でございますので、していかなきゃならんというふうに考えております。

それから塩化カルシウム、融雪剤の散布につきましては、糸魚川地域では1台でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

保坂良一議員。

10番（保坂良一君）

行政も業者に指導しと思うんですけども、やっぱり業者はあんまり慣れてないんですよね、雪に。雪が降れば、また上手になるんでしょうけども、なかなか業者も町内は慣れていないと思いますので、私もかなりあそこを通りますけども、本当に大変な状況だったと思いますし、融雪剤も1台ということになると、ちょっとまだ物足りんと思いますよね。今、坂道があって、かなりすべるところがありますので。

消パイが2時間とまると、特におっかないですよ。糸中の坂なんか上れなくなるんですよ。2時から5時までとまると、あそこはまるきり普通車は上れなくなるようなもんですから、やっぱり融雪剤をまいてやらないと。上にはみやまの里もあるわけですから、緊急な医療も必要だと思いますので、その辺はひとつ気をつけて。融雪剤も1台と言わんで、まだやっぱり台数が要ると思いますよ。そんなことで、考えてもらいたいと思います。

今後、降らなきゃいいですけどね、どうもカマキリ博士の言うことかというと、また1月末に大雪が降るような山がありますので、そのように、また今後の除雪に気をつけていただきたいと思います。ご苦労さんでございます。

これで終わります。

議長（倉又 稔君）

ほかにご質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

ご質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

本案については、会議規則第37条第3項の規定により委員会の付託を省略いたしたいと思いません。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

ご異議なしと認めます。

よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入りますが、ただいまのところ討論の通告はありませんので、討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

これより議案第1号、平成22年度糸魚川市一般会計補正予算（第7号）を採決いたします。

本案は、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

ご異議なしと認めます。

+

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第2号、平成22年度糸魚川市一般会計補正予算（第8号）を採決いたします。

本案は、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

これをもちまして、平成23年第1回糸魚川市議会臨時会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでございました。

午前10時54分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

+

議 長

+

議 員

議 員

+